

## 研究計画概要

助成年度・種別	2023年度 一般研究助成
研究代表者	遠藤 洋二
所 属	関西福祉科学大学
研究テーマ	児童養護施設等から児童自立支援施設へ措置変更された児童への切れ目ない支援のための実践モデル開発
研究計画概要	<p>これまで研究代表者は、児童養護施設等入所型児童福祉施設における児童同士の性暴力について調査研究、実践を行ってきた。その中で、性暴力の背景には加害児の特性だけではなく、施設のシステムや施設集団の力動が存在していることを一定明らかにしてきた。多くの加害児童は、児童自立支援施設等に措置変更されるといった表面的な解決に留まっている。また、中には児童自立支援施設においても再び性的な逸脱行動を呈し、少年院などの矯正施設に送致されるなど、児童の最善の利益を念頭に置いた措置となっているかどうかは大きな疑問である。全国の児童自立支援施設に入所する児童の 1/4 は児童養護施設等からの措置変更であることを考えれば、児童間性暴力の加害児童も含めて措置変更児童が、社会的養育という枠組みの中で切れ目のない「連続線上の支援」を受けることが必要不可欠である。本研究においては、このような「児童間性暴力」と「措置変更」という2つのテーマ(課題)について、その実態を明らかにした上で、児童への切れ目のない支援を実現するために、児童自立支援施設を中心に関係機関も含めた実践モデルを策定したいと考えている。</p>
選考委員からのコメント	<p>本研究テーマである「措置変更」と「児童間性暴力」の問題は、児童福祉の現場では長年認識されていたものの、研究としては十分に手が付けられてこなかった。本研究においては、量的調査に加えて、半構造化インタビューによる質的調査によって「切れ目のない支援実践モデル」の構築を目指している。本研究の成果がわが国の児童福祉の質的向上に寄与し得るものと期待が持てる。</p>